

2023年10月1日(日)第一主日礼拝

イザヤ書50章1～11節

『神である主は私を助ける』

序論:

- ①イザヤ書はどうして「第五福音書」とも言われるのですか。
- ②南ユダはどうして国家的危機が迫っているにも関わらず、神に背を向けていたのですか。

本論:

1. 主は信仰をもって応えることを迫られる

- ①神とイスラエルの関係は、何と何で譬えられていますか。
- ②イスラエルは神との関係についてどう思っていましたか。
- ③神は絶望の淵に立つイスラエルに何を迫られましたか。

2. 主はみことばに聞き従うことを願われる

- ①「神である主」とはどういう意味がありますか。
- ②ここでの「私」とはだれのことを示していますか。
- ③しもべはどうして苦難の中でもどんな確信がありましたか。

3. 主はご自身に信頼する者を助けられる

- ①預言者は主のしもべの歩みについて述べた上で、どんな決断を迫っていますか。
- ②「自分たちの火の明かり」とはどんなものを示していますか。
- ③闇の中を歩くのにどうして「光」が必要なのですか。「光」とはなんですか。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。